

2022年2月1日

各位

H2株式会社

スマートインスリンペンと連携するアプリ機能をリリース 投与量などの可視化で糖尿病患者さんの自己管理と治療改善を目指す

【背景】

糖尿病治療の最新デバイスやICTが開発されている昨今、インスリン発見から100年の翌年である2022年に、インスリンの単位数が無線転送可能なスマートインスリンペンが発売になりました。H2株式会社（東京都台東区、社長：エドデン）は自己管理アプリ「シンクヘルス」の新機能として、スマートインスリンペンとの連携機能をリリース致します。



《シンクヘルスアプリのデータ連携イメージ》

【機能概要】

- 転送方法：スマートフォンのNFC通信部分にスマートインスリンペンの通信部をかざすことでデータ転送が可能です。
- データ閲覧：シンクヘルスアプリ内の、分析画面（SMBG画面、CGM画面）日記画面で閲覧可能です。
- 空打ち識別：スマートインスリンペンから同期したデータをサーバーにアップロードする前に、各投与量が「空打ち」であるか独自の解析方法に基づき識別しています。
- データ共有：ご家族や友人との共有、医療従事者へのデータ共有が可能です。※医療従事者へデータ共有を行うシンクヘルスプラットフォームは、別途開設手続きが必要です。

データ転送すると、単位数や注射時刻などをアプリで記録・分析します。

The screenshot displays several key features of the app:

- 血糖値 (Blood Sugar):** A summary screen showing recent 14-day trends, including minimum, maximum, and average values, along with a distribution chart and a trend graph.
- 比較 (Comparison):** A bar chart comparing blood sugar levels before and after meals and exercise.
- CGM (Continuous Glucose Monitoring):** A detailed line graph showing glucose levels over time, with annotations for meals and insulin doses.
- 日記 (Diary):** A log of daily activities, including meals, insulin doses, and exercise, with automatic recognition of insulin injections.

Callouts highlight specific features:

- インスリンを表示を選択 (Select to display insulin)
- 持効型/速効型/超速効型で色別に表示されます (Displayed by color by type: long-acting/rapid-acting/ultra-rapid-acting)
- 食事・運動時の前後比較 (Comparison before and after meals/exercise)
- 薬剤名と単位数 (Medicine name and units)
- 空打ちの識別 (Recognition of empty injections)

《インスリンのデータはアプリ内で分析される》

シンクヘルスプラットフォームで患者さんのインスリンデータを開覧することが可能です（別途アカウント作成・アプリ連携手順あり）

- 患者さんがスキャンしたデータを自動でプラットフォームに反映します
 - 表：打った記録あり：緑 打った記録なし：オレンジ
 - グラフ：時系列で表示（直近2週間分）
- 血糖値などのデータとともに把握可能
- 空打ち・転送データが識別可能

The screenshot shows a detailed table of insulin data with columns for date, time, and various insulin types. A callout box highlights specific data points:

- 200 16U 持効型 (Long-acting insulin)
- 176 - 200 32U 持効型 (Long-acting insulin)

A circular inset shows a doctor using a laptop, and a larger inset shows the doctor's interface on a tablet, indicating that healthcare providers can also view this data.

《インスリンデータは血糖値などとともに、医療従事者も閲覧可能》

【今後の展望】

インスリン療法をされている患者さんに本機能をご活用頂き、自己管理の促進や、医療従事者とのコミュニケーションなど広く日本の糖尿病診療にお役立て頂くことを目指します。

【シンクヘルスアプリについて】

シンクヘルスは血糖値・血圧・体重などの測定データや、食事・運動・薬などの日常生活を記録し、AIの分析により生活習慣の自己管理に役立てるアプリで、国内では約24万人が利用しており、世界では80万人以上に利用されています。(2022年1月現在)

【H2株式会社の会社概要】

住所：〒110-0005 東京都台東区上野3-2-2 アイオス秋葉原604
 URL：<https://www.health2sync.com/ja>
 株主：SOMPOホールディングスなど

(報道関係者お問い合わせ) H2株式会社 担当:宮田
 Phone:090-3727-4711 Mail:kmiyata@health2sync.com